

- 問1 北海道の各地域の自然環境について述べた文のうち、網走や紋別などを含むオホーツク海沿岸の特色として最も適切なものはどれですか。

(2024年 福島県公立入試 類似)

1. 夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る湿った冷たい風の影響で、濃霧が発生しやすい。

2. 対馬海流の影響を強く受け、冬には北西の季節風によって日本海側に大量の雪をもたらす。

3. 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。

4. 十勝平野を中心に火山灰の土壌が広がっており、大規模な畑作や酪農が行われている。
- 問2 1977年から2017年にかけての北海道における稲作の動向について、作付面積と総収穫量はともに減少していますが、1ヘクタールあたりの収穫量は増加傾向にあります。このように、一定の土地面積から得られる収穫量が増える背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2019年 岡山県公立入試 類似)

1. 化学肥料の使用を一切やめ、伝統的な手作業による農法に回帰したため。

2. 政府の減反政策により、小規模な農家がすべて廃業して大規模農場に集約されたため。

3. 地球温暖化の影響のみによって、北海道全域が稲作に最適な亜熱帯気候に変化したため

4. 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。
- 問3 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。

(2019年 岡山県公立入試 類似)

1. 択捉島

2. 国後島

3. 歯舞群島

4. 色丹島
- 問4 北海道の内陸部に位置する地域の気候の特徴について、ある地点の統計を確認したところ、1月の平均気温がマイナス20度近くまで下がり、年間のすべての月において降水量が100mm未満という非常に少ない数値を示していました。この地域の気候について正しく述べたものはどれですか。

(2019年 富山県公立入試 類似)

1. 季節風の影響で冬の降水量は多いが、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥する。

2. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい北東風の影響を強く受け、夏でも霧が発生しやすい。

3. 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。

4. 対馬海流の影響を強く受けるため、冬に雪が多く、年間降水量が2000mmを超える。
- 問5 日本の乳牛飼育において、飲用として出荷される牛乳の生産地が、千葉県、神奈川県、愛知県といった大都市の周辺に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。

(2022年 埼玉県公立入試 類似)

1. 大都市の周辺は北海道に比べて土地代が安く、乳牛を放牧するための広大な土地を確保しやすい環境にある。

2. 飲用牛乳は加工用生乳に比べて重量が軽く、輸送コストがほとんどかからないため、あえて都市部で生産されている。

3. 法律によって、飲用牛乳は消費地と同じ地方自治体の中で生産・処理しなければならないと定められている。

4. 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。
- 問6 1960年から2010年までの50年間で、札幌市の人口は約62万人から約191万人へと3倍以上に急増しました。北海道全体の人口が1950年の約430万人から2010年の約551万人へと緩やかな推移を見せる中で、このような札幌市の人口動態が北海道全体に与えている状況として最も適切なものはどれですか。

(2016年 群馬県公立入試 類似)

1. 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。

2. 北海道全体の人口が減少局面に入ったことで、札幌市の人口も2010年に向けて激減した。

3. 道内の各都市が札幌市と同様のペースで成長したため、札幌市の人口占有率は低下している。

4. 札幌市の人口増加率よりも北海道全体の人口増加率の方が高く、人口の分散が起きている。
- 問7 北海道の釧路市周辺では、夏の時期に「海霧」と呼ばれる濃霧が発生し、日照時間が短くなるという気候上の特徴が見られます。このような現象が起こる背景として、地形や海流の影響を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。

(2021年 茨城県公立入試 類似)

1. 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。

2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な風が、大雪山系を越える際に上昇気流を作るため。

3. 熱帯低気圧から変わった温帯低気圧が、太平洋沿岸の暖流によって勢力を強めるため。

4. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である日本海流（黒潮）の影響で湿気を帯びるため。
- 問8 北海道の産業別就業者数に関する特徴として、最も適切な記述はどれか。

(2025年 青森県公立入試 類似)

1. 大消費地である東京に近いため、近郊農業による第1次産業の割合が全国で最も高い。

2. 第1次産業から第3次産業まで、それぞれの就業者割合がほぼ均等になっている。

3. 大規模な工業団地が多く、第2次産業の割合が全産業の中で最も高い。

4. 広大な土地で農業が行われているため、第1次産業の割合が全国平均に比べて高い。
- 問9 北海道の北東に位置する国後島などの北方領土をめぐる、日本政府の立場や現状についての説明として正しいものはどれか。

(2019年 岡山県公立入試 類似)

1. 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。

2. 北海道の根室半島から最も遠い位置にあるため、現在はロシアとの間で共同統治を行うことで合意している。

3. 日露親善条約においてロシア領と決められたが、日本は歴史的な経緯から返還を求めている。

4. サンフランシスコ平和条約において日本が放棄した千島列島の一部であり、現在は国際連合の管理下にある。
- 問10 日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。

(2018年 千葉県公立入試 類似)

1. 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。

2. 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。

3. 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。

4. 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。
- 問11 北海道の気候を地域ごとに比較したとき、日本海側の地域と比較した「内陸部」の特徴として、最も適切な説明はどれですか。

(2019年 富山県公立入試 類似)

1. 夏に太平洋側から吹き込む冷たく湿った気流の影響で、日本海側よりも夏に晴天の日が少ない。

2. 梅雨の時期に湿った空気の影響を強く受けるため、日本海側よりも6月の降水量が多い。

3. 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。

4. 暖流の影響を直接受けるため、日本海側の沿岸部よりも冬の気温が高い。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。	オホーツク海沿岸の最大の特徴は、冬に見られる流氷です。これはアムール川からの淡水流入などで塩分濃度が低くなった海域で氷が形成され、それが南下してくることで起こります。他の選択肢については、夏の濃霧は太平洋側、火山灰土壌（シラスや黒土）による大規模農業は十勝平野など、日本海側の豪雪は季節風と対馬海流の影響によるものであり、地域ごとの気候区分を正しく理解しておくことが重要です。
問2	答え 4 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。	北海道の稲作は、かつては寒冷地ゆえの不作に悩まされてきましたが、農業機械の導入などの生産技術の進歩や、「ゆめぴりか」や「ななつぼし」といった耐冷性に優れた品種改良の努力により、単位面積あたりの収穫量（土地生産性）を向上させてきました。米の消費量減少に伴う減反政策などで作付面積や総収穫量自体は減っていますが、技術革新によって効率的な生産が可能になっています。
問3	答え 2 国後島	国後島は、北海道の知床半島の東側に位置する島です。択捉島、色丹島、歯舞群島と合わせて北方領土と呼ばれます。北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな面積を持ち、根室半島の先に位置する歯舞群島や色丹島などとともに、一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連によって占拠されました。
問4	答え 3 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。	北海道の内陸部は、海から遠く離れているために海による気温調節機能が働かず、放射冷却現象などの影響で冬の気温が極端に低くなります。また、周囲を山々に囲まれていることから、海からの湿った空気が入り込みにくく、日本海側などの沿岸部と比較しても年間降水量が少なくなるのが特徴です。
問5	答え 4 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。	生乳の生産と流通には、製品の性質に応じた明確な特徴がある。牛乳（飲用）は液体であり、品質を維持するために鮮度が極めて重要視される。そのため、輸送時間を短縮できる大消費地の近郊で生産・処理される傾向が強い。一方、バターやチーズなどの原料となる加工用生乳は、広大な土地を持つ北海道が生産の約9割を占めている。加工品は飲用牛乳に比べて保存性が高く、遠方からの輸送にも適しているため、土地条件の有利な北海道での大規模生産が可能となっている。
問6	答え 1 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。	北海道全体の人口が緩やかな伸び、あるいは横ばい傾向にあるのに対し、札幌市の人口は1960年から2010年の間に約3倍以上という極めて高い伸び率を記録しています。この結果、北海道の総人口に対する札幌市の人口が占める割合は上昇し続けており、特定の都市に人口や経済機能が集中する「一極集中」という地理的特徴が顕著になっています。
問7	答え 1 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。	日本の夏には、太平洋高気圧から南東の季節風が吹き込みます。この季節風は海からの湿気を多く含んでいますが、北海道東部の沖合を流れる寒流（千島海流／親潮）によって下層から急激に冷やされます。冷やされた空気中の水蒸気が細かい水滴となることで濃霧が発生し、沿岸部に流れ込むため、釧路などの地域では日照時間が減少します。
問8	答え 4 広大な土地で農業が行われているため、第1次産業の割合が全国平均に比べて高い。	北海道は、十勝平野での畑作や根釧台地での酪農など、広大な土地を生かした農業が基幹産業の一つとなっており、第1次産業の就業者割合が約6%と全国平均よりも高い水準にある。一方で、就業者数の構成比としては、サービス業などの第3次産業が約76%と大半を占めており、第2次産業が中心というわけではない。
問9	答え 1 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。	1855年の日露和親条約において、国後島を含む北方四島は日本の領土として確認されました。それ以降、一度も外国の領土となったことがない「日本固有の領土」ですが、1945年の終戦直後に当時のソ連（現在のロシア）によって占拠されました。日本政府は、サンフランシスコ平和条約で放棄した「千島列島」には北方四島は含まれないという立場をとっており、ロシアに対して一括返還を求めています。
問10	答え 2 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。	北海道の行政の中心である道庁は札幌市に置かれています。札幌市は、碁盤の目のように区画された市街地を持つ政令指定都市です。北海道内には、知床という世界自然遺産が存在するほか、青森・秋田両県にまたがる白神山地や鹿児島県の屋久島など、日本の自然遺産が所在する自治体は、その場所や名称が中学地理において重要な学習事項となります。
問11	答え 3 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。	北海道の日本海側は冬の季節風の影響で雪が多くなりますが、内陸部は山地によってその湿った空気が遮られるため、雪や雨の量が抑えられます。一方で、内陸部は地表の熱が逃げやすい盆地構造を持つ場所が多く、冬の寒冷な気候は沿岸部よりもいっそう厳しくなるという対照的な特徴を持っています。